

復興まちづくりニュース Vol.10 青井地区

第3回下青井町復興まちづくり座談会を開催しました

本市では、復興事業により整備される公共施設等を地元住民の皆様に快適に利用していただけるよう、仕様やしつらえ等についてご意見等を直接伺うことを目的とした座談会を開催しています。

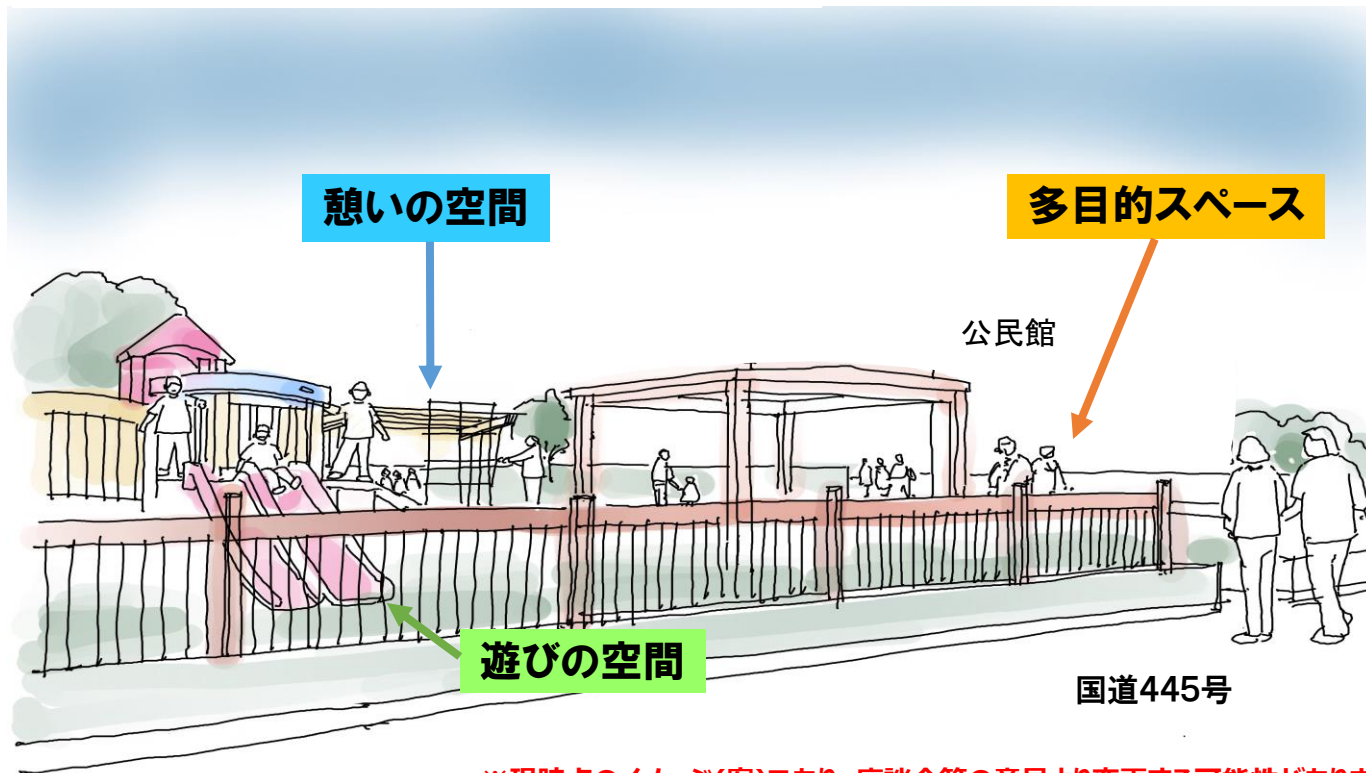
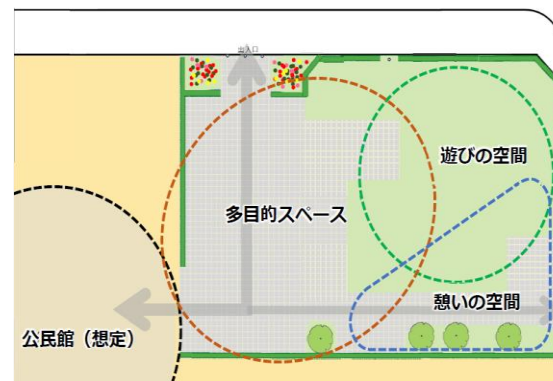
令和5年11月9日（木）開催の第3回座談会では、これまでに頂いたご意見をもとに、（仮称）西部公園の整備方針とまち並み形成の案についてお示しし、皆様から各案に対するご意見をいただきました。

▼今回の座談会の内容▼

（仮称）西部公園の整備方針（案）

地元の子どもから大人まで
豊かな関わりを創り出す
“みんなの公園”

- 1 地元の子どもたちが安全で身近に遊べる場
- 2 健康づくり等による憩いの場
- 3 子ども会や地蔵祭り等の行事が行える場
- 4 災害時の一時避難や支援活動等が行える場



※現時点のイメージ(案)であり、座談会等の意見より変更する可能性があります。

▼今回、皆様から頂いたご意見を一部紹介します。

①地元の子どもたちが安全で身近に遊べる場

機能	■ 地元の小中学生が日常的に集まったり遊んだりする場所となる公園 ■ 安全対策（飛び出し防止等）や日陰、休憩スペースがあり、ベビーカー等を使う子育て世代が利用しやすい公園 ■ 国道や公民館、周辺の建物から公園内を見通せるよう工夫し、地域ぐるみで子どもたちの見守りができる公園
ご意見	・地元の子どもたちが遊ぶ場所がないため、「小中学生が日常的に集まったり遊んだりする場所となる公園」に共感できる。 ・「日陰、休憩スペース」に共感でき、特に夏場は暑いから大人から子供まで休憩できるとよい。 ・子どもの安全面を考えて、（絵のように）国道に飛び出さないよう柵などの工夫はよい。 ・遊具を設置すると必ず危険が伴うため、老朽化等により事故が起きないように考える必要がある。

②健康づくり等による憩いの場

機能	■ のびのびと体を動かすことができる広い空間が確保された公園 ■ 気軽に健康づくりができる公園 ■ 高齢の方が使いやすく集いやすい公園
ご意見	・「ストレッチや休憩」に共感できる。 ・少し高い鉄棒にぶら下がり等で健康づくりができるとよい。 ・屋外での体操は高齢者にとって難しいところがある。

③子ども会や地蔵祭り等の行事が行える場

機能	■ 地元行事等で多くの住民が集まり、多様な使い方ができる公民館と一体となった公園 ■ お祭りや町内活動等を想定した、水道、電源等の機能を共有できる公園
ご意見	・地蔵祭りのときもテントを出して公民館内で作った料理を振舞っていたので、「公民館と一体となった公園」に共感できる。 ・子ども達は人吉駅まで行ってラジオ体操をしているため、ここがラジオ体操の会場になるのはよい。 ・子ども会の親睦会で公民館の庭を使って BBQ しているので、そういった親睦会ができる公園に共感できる。 ・水難除けのお地蔵様の置き場が水害により置き場がなくなったので、その場所をつくってほしい。

④災害時の一時避難や支援活動などが行える場

機能	■ 公民館と連携したあらかじめの一時避難場所となる公園 ■ 公園と公民館の一体利用による支援的な拠点やライフライン寸断等に対応した機能を有する公園
ご意見	・熊本地震の際の様子を見ると、駐車スペースが必要だと考える。 ・水害時に足腰の弱い方は高台に逃げることは難しいため、せめて公民館に行けば命が助かるようにしたい。 ・令和2年の豪雨では、公民館に10名ほど高齢者が避難しており、若い方の転機により事前に避難することができた。

復興まちづくりニュース Vol.10 青井地区

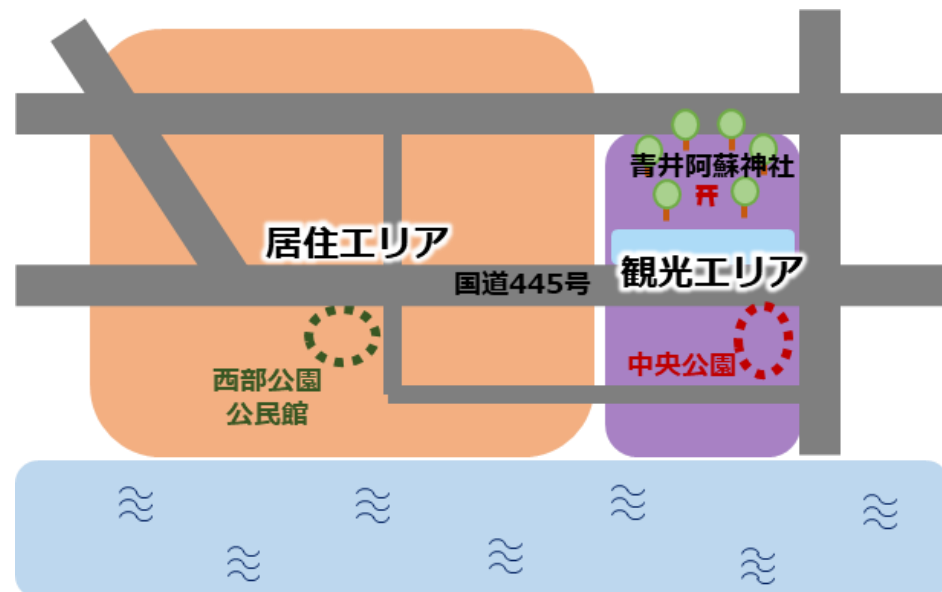
まち並みの方針(案)

落ち着いた暮らしを大切にしたまちづくり

- 1 「居住」エリアと青井阿蘇神社周辺の「観光」エリアの棲み分けによる生活環境に配慮した国道445号の整備
- 2 落ち着いた雰囲気暮らしやすいまち並みの形成



※：※まち並みは、あくまでイメージです。



※ 青井阿蘇神社周辺の賑わい拠点に関する機能やデザイン等は、地域住民の皆様や復興まちづくり推進協議会等のご意見をいただきながら別途計画して参ります。

①「居住」エリアと青井阿蘇神社周辺の「観光」エリアの棲み分けによる生活環境に配慮した国道445号の整備

機能	■ 青井阿蘇神社を訪れた観光客が居住空間を認識でき、住んでいる方のプライバシーを守れるよう構造等に配慮する ■ 「居住」エリアは、地域の方が日常的に使う道路として歩きやすく、生活に彩りを与える道路環境とする ■ 街路樹は、風通しに配慮したスポット的な配置とし、高木とならない樹種を植栽する ■ 車道と歩道の区分を明確化し、安全で快適に歩行できる構造とする
ご意見	・「居住」エリアと「観光」エリアの棲み分けに共感できる。 ・「居住」エリアは昔商売も行われていたところでもあるので、居住と観光を緩く差別化してもいいのではないかな。 ・青井阿蘇神社を撮影する時に電線がいっぱいだときれいに写真がとれないため、無電柱化という点は共感できる。 ・居住エリアに街路樹はいらないのではないかな。維持管理が大変で周囲も緑が多いため必要性を感じない。 ・自転車の走行を考えると街路樹を無くして路肩を広くした方がいいのではないかな。

②落ち着いた雰囲気暮らしやすいまち並みの形成

機能	■ 地域の皆さんの大切な場所（青井阿蘇神社やお地蔵様、自宅等）を守りながら、落ち着いた雰囲気暮らしやすい居住環境等をつくるために、地域の方々による統一感のあるまち並み形成を図る ■ 生活での歩行やまちの景観に配慮した（例：建物のセットバック、宅地内の緑化、敷地内の電柱設置等）、温かみがある機能的な空間の形成を図る ■ より暮らしやすいまちにしていきたいために、暮らしの中での必要なルール（例：ゴミの出し方等）をつくる
ご意見	・落ち着いた雰囲気暮らしやすい居住環境に共感できる。 ・セットバックによる開放感のあるまち並みや、ブロック塀の倒壊を防ぐための緑化などは非常によいことだと考える。 ・電柱は土地区画整理事業後に家を建てられることを考えると、電柱配置がどのようになるのか情報提供が必要だと考える。 ・周辺で店舗が進出してくる可能性があるため、看板についてやりわり規制をかけておく必要があると考える。 ・ゴミの出し方についてゲージがあるとよい。 ・新しく移住して来られる方に対して、まち並みの方針を周知・お願いする必要がある。



(座談会の様子)

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興建設部 市街地復興課 〒868-8601 熊本県人吉市西間下町 7-1
Tel:0966-22-2111(内線：2216) Fax:0966-24-7869
E-mail:shigaitifukkou@hitoyoshi.kumamoto.jp